

岡山にある文化に関する建物

私は岡山県庁環境文化部文化振興課のインターンシップに参加させていただきました。
そこで岡山県岡山市にあるルネスホール、岡山県立美術館、天神山文化プラザに伺いました。
この3館の魅力を紹介します！

ルネスホール

この建物は、大正期の旧日本銀行岡山支店を改装して建てられた歴史的な建物です。国の登録有形文化財に登録されています。ギリシャ神殿のような4本の柱や文様はとても高級感がありました！

注目ポイント！

カフェの入り口はまさかの金庫扉！

両手を超える金庫扉の厚さにとても圧倒されました！

「昔は簡単に入ることができなかった」場所がカフェに？！ワクワクが止まりませんでした！



岡山県立美術館

この建物は最高裁判所など設計したことで知られる岡田新一氏の設計の建てられました。外装のタイルが特注で作られていたりや一面桜色である壁や床には、岡山県も産地として有名な花崗岩が使われていたり、こだわりがたくさんありました！



美術館のテーマは「岡山ゆかり」で、常設展「岡山の美術展」で作品が紹介されています。

室町時代に活躍した国の重要文化財である雪舟（備中国、今の総社市の生まれ）の作品も所蔵されており、今の展覧会では江戸後期に活躍した日本画家の釧雲泉（くしろ うんせん）が岡山滞在時に描いたものを含む約30作品を見ることができました。

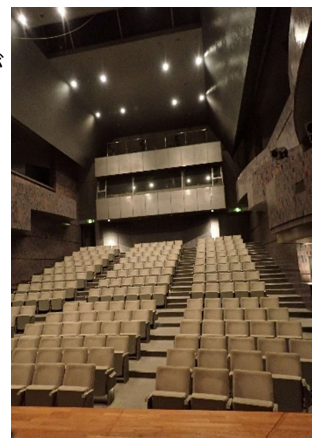
観光の方も、特別展を見にいらっしゃった方にもおすすめです。



釧雲泉「山水図屏風」

2Fには演奏会などが行われるホールがあります。

見上げると、ダイナミックな構造の高さのある天井が圧巻であり、音の響きが良いと評判のホールです。ホールへの運搬や展示物の運搬は、人1人が住めそうなとても大きなエレベーターで、一直線でした。



地下1Fでは「サーカス！～ようこそ夢の世界へ～」展が開催されていました！岡山に拠点のある木下サーカスの衣装の展示や、描かれた絵が時代別に紹介されていました。

特別出品の光の切り絵では海、山などの自然の風景やサーカス、花火などの華やかな演出がとてもきれいでした。

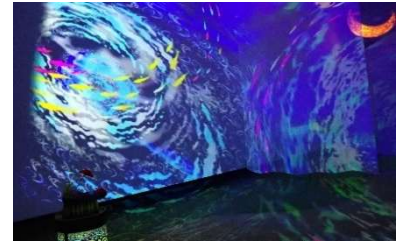


川西英「サーカス（曲馬）」

注目ポイント！

途中からでもとてもきれいで楽しめますが、物語になっているのでぜひ椅子に座って映像が最初に戻るのを待って、**最初から通してみると**、より世界観に没入できます！

座ると何もないはずのところに映像が浮かび上がって見えたり…



体験型の大型アート「光の切り絵」

ここで裏話…

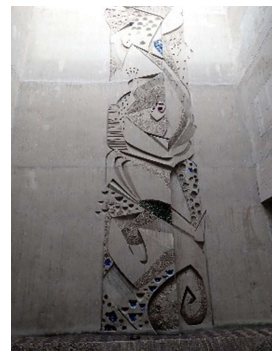
岡山で開催中の「木下サーカス」の公演と時期を合わせた展示です。担当の学芸員の方は、数年前から時間をかけて展示会の準備を進めてきたそうです。

展示されているのが一つひとつ学芸員の手によって選ばれた作品だと知り、私の作品に向き合う熱意がガラリと変わりました！



岡山天神山文化プラザ

岡山県庁の庁舎や林原美術館と同様、前川國男氏が設計した建物です。建物の探検マップが作られるほどこだわり抜かれており、建物好きな人にぜひおすすめしたいです！



注目ポイント！

12個も見どころがある建物ですが、一番感動したのはこの夜空のような天井と星のようなランダムに配置された照明です！

前川建築の特徴の一つでもある天井の「成層圏ブルー」をぜひ見に来てください！

